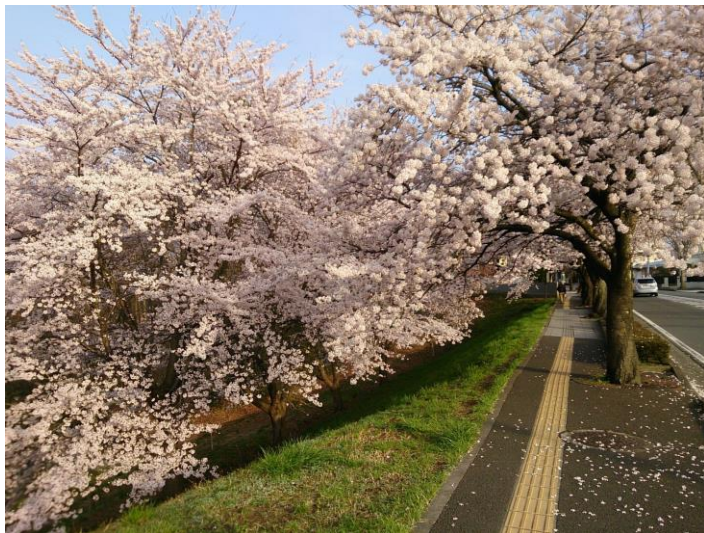




ナルク宮城 「けやきの会」会報

ニッポン・アクティブ・ライフ・クラブ
発行元 ナルク宮城会報誌編集委員会
代表 梅津健次
〒980-0871
宮城県仙台市青葉区八幡1-4-25
☎・FAX (022) 765-8727
E-mail nalcmiyagi@ab.auone-net.jp
http://nalc-miyagi.jimdo.com/

“春の息吹と共にコロナ禍で休止中の諸行事を再開、



4年目の新型コロナ禍も粘りを見せているが、漸くここに来て感染症法上の扱いが「2類相当」からインフルエンザ並の「5類」に引き下げられることとなりそうです。

またず〜と付きまとっていた「マスクの励行」も、特定な場所を除き「個人の判断に委ねる」こととなりそうです。

私達ナルクにとって、コロナ禍で被った最大のものは、「自由な人との交流を絶たれた」ことです。実に丸3年間、ナルク宮城の行事は「全て中止」に追いやられてきたのです。しかし前述のとおり今年に入っ

てから、とりわけ3月に入ってから、昔のような日常を取り戻すことができそうとなりました。

こうした状況を受け、これまで感染予防のため中止していた諸行事は全て解禁できると判断、一気に始動する事としました。

行事再開の第一弾は、将監沼での花見を計画

写真は、泉区の将監沼の桜並木

今年の花見は2月28日の運営委員会で、泉区の将監沼公園で行うこととしました。日取りは、昨年は4月3日が開花日でしたが、開花日に影響のある気温の方が例年より高い状態が続いておりますので、昨年より一週間ほど早まって3月27日辺りに開花するのではないかとの見方もされております。このため確定した日取りは、3月10日前後に確定し、参加希望者の皆さんには確定日と実施の詳細を別途お知らせします。また当日は、将監沼周辺の散策も予定しています。

第二弾は、パークゴルフです

長かったコロナ禍で、会員相互の交流が大分絶たれてきました。そこでコミュニケーションツール強化の一環として、「パークゴルフ同好会」を立ち上げ、4月末か5月あたりから会員を募り、実践に入りたいと思います。

なお現在、ナルク宮城の会員の目黒洋治さんと四間ふさ江さんの両氏が、日常的にパークゴルフを愉しまれておりますので、このお二方から同好会の世話役となっていただくこととしております。パークゴルフについての詳細は、別途事務局からご案内をします。多くの皆さんの参加を期待しております。

◇パークゴルフとは？

- ・パークゴルフは、クラブ一本とボール一個それにティーがあれば誰でもレースを楽しむことができる簡単なスポーツであり、クラブでボールを打ちカップインするまでの打数で競い合い楽しく遊べる健康的なスポーツです。
- ・ルールは本物の「ゴルフ」と似通っていますが、パークゴルフの場合スタート地点で何回も空振りしても打点となりませんが、二打目以降、空振りであっても風圧等で動いた場合は一打とみなされます。
- ・ルールは、先輩に聞いて順次覚えるものです。

「故」林茂氏ご令室「澄子様」よりナルク宮城に100万円の寄付

「ナルクを頼んだぞ、夫の意志を寄付の形で、」

本会報誌の前回号で「1998年8月1日にナルク宮城を立ち上げ、その後20年間代表としてナルク宮城の発展に尽力された林茂氏が、令和4年12月22日未明、満93歳で帰らぬ人となりました」と皆様にお知らせしました。その後今年に入ってご遺族の方(澄子様ほか)がナルク宮城の事務所を訪れられ、梅津代表ほか全運営委員が揃っている前で「生前林は大変皆様からお世話になった。林にとってナルクは、生き甲斐そのものであった。同時に行く末を最後まで案じていた」「これは、生前の林の意思でもある」として100万円をナルク宮城に寄付された。

運営委員会としては、ご遺族のご意思を尊重し、これを今後のナルク宮城の発展に資する使い方をしていくこととしました。

間もなくナルク宮城は、設立25周年目を迎えます

ナルクは1994年大阪で誕生しましたが宮城拠点は1998年8月1日、設立されました。

従って宮城は、間もなく設立から25周年目を迎えます。

設立に携わった先駆者の皆さんは、既に25年と云う歳月の中で世代交代となっているが、引き継いだ者は、高齢化という副題を抱え、育ての苦しみを味わっているのが現実です。

25周年を迎えるにあたって、その節目の年に何を目標にこれから進んでいくか、その真価が問われる年になりそうです。

(ナルク宮城代表 梅津健次 記)

「維持継続する事の難しさ」

鈴木幹雄

私の高校の大先輩に「書」を良く読む博識な人が居た。今から8年ほど前、同窓会仙台支部の45周年記念誌に、次の様な祝辞を寄せてくれ事を思い出した。それは古代中国「唐の時代」



の書についての紹介であった。第2代皇帝「太宗」の没後50年に出された「貞観政要」と云う書物に記されているもので、今の言葉で云うと「創業と維持の何れが難しき」と有り、これは太宗が部下に発した問で、隋が滅んだ後、中国全土を統一した太宗が、統一後の全国を維持し、継続することの困難さを身に沁みて発せられたと解されているもの。

この度創立から45周年を迎えると聞けば、どうしても中国古典のこの言葉が浮かんでくる。大いにその労をねぎらいたいし、今後も維持継続することを願いたいという様な文章であった。

翻って、我がナルク宮城も今年で設立25周年目を迎える。会員数の減少、高齢化、コロナによる行動の制限等など、明るい兆しがなかなか見えにくい昨今、設立の立役者であった林茂元代表が逝去され、一時空気の抜けたタイヤのような雰囲気状態の今こそ、梅津代表の下これから先25年が30年、35年度維持継続していくためには、どういう方策があるか、真剣に考えていかなければならないのではないかと、つくづく思う。

◇ 事務局からのお知らせ ◇

行事等の参加申し込みは、次の事務所の固定電話にお掛けください(携帯からは022から)

☎ (022) - (765) - (8727)

【編集後記】私がパソコンを持ったキッカケは、息子から「ボケ防止」との理由で買ってもらった。またパソコン持ったお陰で会報の編集委員を仰せつかった。早15年以上も経った。最近では簡単な文章が出てこない。ボケの始かど気にかかる。(梅津 記)

賛助会員(敬称略、順不同)

- ▶ 東北電力労働組合
- ▶ ユアテックユニオン
- ▶ 東北発電工業労働組合
- ▶ わかくさ幼稚園